

放送朝会 校長の話 1月14日

今日は1月14日ですが「愛と希望と勇気の日」と言われています。どうしてこんな素敵な名前の日になったのでしょうか。

それは今から60年位前の話です。地球の1番南に南極大陸があります。1年中、雪と氷に覆われた大陸です。そこには昭和基地といって南極大陸の観測や調査をするための日本の基地があります。南極観測隊の人たちが住んでいて、1年交替で任務を終えると日本に帰国し、代わりに日本から隊員が行きます。1958年2月11日、南極大陸に交替のための船が到着し、日本に帰国する隊員が飛行機で船まで到着しました。そのとき、吹雪になり強風が吹き荒れました。新しく来た隊員はそこから飛行機で昭和基地まで行く予定でしたが、悪天候のために、飛び立てません。様子を見て待ちましたが回復しません。実は昭和基地では犬ぞりを使っているため、カラフト犬15頭を飼っていました。その犬たちは昭和基地に鎖につながれたままの状態、隊員が誰もいなくなってしまうました。とうとうカラフト犬を南極大陸に残したまま、隊員たちは全員日本に帰国しなくてはならなくなりました。涙の別れです。

南半球は日本と季節が反対になるので、日本が冬の時でないとは入れません。1958年11月12日、南極観測隊を乗せた船が東京を出港しました。そして、南極に到着して昭和基地に行ってみました。するとなんと、2頭のカラフト犬が走り寄ってきて飛びついてきました。2頭が1年間生き延びて隊員たちが帰ってくるのを待っていたのです。2頭が確認されたのが1月14日です。このニュースは世界中に発信されました。そして、この1月14日は「愛と希望と勇気の日」と言われるようになりました。

さて、今週は書き初め展と展覧会があります。木曜日は児童鑑賞日で金曜日、土曜日はおうちの方々も見にいらっしやいます。今、先生方が展示するための準備をしています。皆さんが一生懸命作った作品をお互いに見て鑑賞しましょう。どんな作品があるか楽しみですね。